

災害復旧に



9月定例会 予算をチェック！質疑

上程された各会計補正予算を、予算特別委員会と総務経済、教育福祉の各常任委員会にて3日間にわたり詳細に審査しました。主な質疑は以下のとおりです。

平成30年度 一般会計補正予算（第3号）（第4号）

歳入

《ふるさと応援寄付金》

7,000万円

内田雅人委員 今年の状況と、総務省による行き過ぎた返礼品の是正をプラスに捉えた具体的な戦略は。

企画財政課長 昨年と概ね同じベースだ。今回の見直しをチャンスと捉え、新たなコラボ商品や体験を返礼品としてPRし、寄付金を増やしたい。

《災害復旧費県補助金》

5,654万円

農山利助委員 補助率は。また連年災害のかさ上げはあるか。

農林土木課長 工事費に対して農地災害が50%、農業用施設災害が65%で、認められればかさ上げもある。

歳出

《インターネット接続》

308万円

田食達弘委員 インターネット通信容量増とのことだが内容は。

総務課長 毎年この時期に必要なに応じて増速対応している。回線の容量としてこれまで

での1.4倍となる。

《塵芥処理事業》

698万円

内田雅人委員 可燃物処理センター、クリンセンターのどこをどう直すのか。今回の事故はこの予算内で対応できるのか。

町民課長 燃料炉の一部修繕とコンベアの部品交換等だ。あとは準備としているが、今回の事故の分は見積もりを取ってからとなる。

藤原充博委員 施設が古くなっているが、今後も町単独でやるのか広域的にやるのか、方向性は。

町民課長 雲南市、飯南町を含め広域化を目指したく検討を進めている。



老朽化が進む可燃物処理センター